

女性視点で農業の魅力を発信！！

～女性にとって農業を「魅力的な職業」へ～

施設野菜 (ミニトマト)



【基本情報】

- おにつか るりこ
- 氏名：鬼塚 ルリ子 さん (53歳)
 - 所在地：宮崎市古城町
 - 栽培品目：ミニトマト約16a(ハウス2棟)、
水稲 4.5ha、マンゴー10a、
レタス、ミニチンゲン菜など
 - 労働力は家族2名とパート3名(常勤)。
 - 販売先は主にスーパー、契約飲食店。
 - 宮崎県内女性農業者グループ「Hinata・あぐりんぬ」前会長であり、JA宮崎中央野菜生産者グループ「わちどんが野菜村」副会長。

【就農の経緯及び組織活動等】

◆実家(葉たばこ、繁殖牛)で農業の大変さを経験していたため就農することは全く考えていなかったが、長男出産を機に食の大切さを実感し、平成14年に就農。

◆平成28年7月に結成された女性農業者組織「Hinata・あぐりんぬ」の令和2~3年度会長として活動。

自身のハウスで南九州大学の女子学生とともに種まきから収穫、販売までを行い女性農業者視点から農業の魅力を発信。

また、マルシェの開催、他女性グループとのネットワーク強化にも取り組む。

◆令和4年12月に女性農林漁業者を対象とした農業機械操作研修会にHinata・あぐりんぬメンバーとともに参加。



トラクターの操作方法を熱心に聞くHinata・あぐりんぬメンバー



人気のミニトマト
(ブランド名:ラブリールー)

【ミニトマト (ブランド名:ラブリールー)】

◆管理は夫健太さんと共同で行う。収穫、出荷準備、販売はルリ子さんが担当。

◆約16a(ハウス2棟)で苗3,600本定植(6月播種、9月定植)、12月~6月収穫。
収穫量約13トン(8トン/10a)。

●こだわりポイント

15種類の品種を試した中からこれだと思い選んだ品種。農薬をできるだけ減らしトマトの状態を毎日確認。甘味・酸味のバランス、コクを追求し完熟で出荷している。大切に育てた農産物で食べた人を笑顔にしたい。それが農業の楽しさ。

【今後の取組】

◆コロナ禍でなかなか思うような活動ができなかったが、女子大学生や子供たちに農業の魅力や食の大切さ、自然のすばらしさを伝える活動を継続していきたい。

◆県内女性農業者の連携を深め、もっとたくさんの女性農業者を輝かせたい。